

第5章 資 料

I. 各種審議会・委員会・協議会等

1. 就学区域審議会

富里市就学区域審議会は、教育委員会の諮問に応じ、市立の小学校又は中学校の就学区域の設定及び変更について調査し、審議します。

氏 名	備 考
寺 内 勝 也	小学校の校長
上 田 義 朗	中学校の校長
岩 澤 佑 介	小学校のPTA代表
平 山 和 年	中学校のPTA代表
上 村 豊	区長会代表
金 子 栄 子	学識経験者

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

2. 教育支援委員会

富里市教育支援委員会は、教育委員会の諮問に応じ、児童・生徒の障害の種類及び程度について具体的に調査し、その適切な就学及び必要な教育的支援について、審議し判定します。

また、就学後の教育的支援に関して、教育委員会に助言を行います。

氏 名	備 考
太 田 いづみ	県立富里特別支援学校教頭
鈴 木 新	医師
佐 藤 卓	市立中学校長
會 田 聡	市立小学校長
秋 葉 利 恵	市立認定こども園長
坂 木 さゆり	市心理相談員
瀧 口 誠 之	市立中学校教諭
吉 原 千 晶	市立小学校教諭
矢 口 真由美	市立小学校教諭
飯 田 みゆき	市簡易マザーズホーム 児童発達支援管理責任者

任期：令和5年4月25日～令和7年3月31日

3. 学校運営協議会委員

地域住民の学校運営への参画を促し、地域に開かれた学校づくりを推進するために、学校運営協議会委員を委嘱しています。

学校運営協議会委員の定数は1校10人以内（ただし、2以上の学校について一の協議会を置く場合は、14人以内）となっており、本年度は総数83名で構成されています。

学 校 名	氏 名	学 校 名	氏 名
富 里 小 学 校 (1 0 名)	渡 邊 薫	富 里 南 小 学 校 (1 0 名)	石 井 誠 一
	内 山 雅 広		中 野 治
	藤 崎 孝 恭		林 祐 司
	渡 邊 俊 治		秋 葉 潤 一
	宇 井 康 博		田 辺 操
	加 藤 健 司		鳴 海 良 子
	佐 伯 綾 子		伊 藤 一 男
	平 山 阿 佑 美		秋 葉 平
	岩 澤 佑 介		加 藤 雅 子
	大 澤 昌 宏		濱 田 素 子
富 里 第 一 小 学 校 (9 名)	林 田 秀 雄	浩 養 小 学 校 (9 名)	森 重 啓 治
	前 川 恵 右		森 重 和 也
	川 嶋 知 道		吉 田 あき子
	安 池 房 江		佐々木 佳 代
	飛ヶ谷 祐示子		三 木 康 雄
	大 木 彩		佐 藤 卓
	鈴 木 ひとみ		内 野 智 子
	寺 内 勝 也		飯 野 浩 二
	山 本 博 康		谷 口 貴 啓

学 校 名	氏 名	学 校 名	氏 名
日吉台小学校 富里北中学校 (1 4 名)	並 木 進	七 栄 小 学 校 (6 名)	小 川 晃 司
	渡 辺 邦 孝		斉 藤 宏 樹
	室 井 慶 擴		鈴 木 基 之
	菅 原 正 広		伊 藤 左千夫
	国 井 貴美子		鈴 木 紀 子
	町 田 弘		小 湊 憲 一
	石 井 正	富 里 中 学 校 (1 0 名)	藤 崎 富 雄
	小 幡 健二郎		田 所 悦 子
	越 川 美 佳		野 田 淳 子
	三 須 徹 也		緒 方 維 幾
	松 田 大 助		小野田 守一朗
	新 井 潤一郎		村 上 亮
	山 本 典 孝		平 林 しのぶ
	松 本 武 大		上 田 義 朗
根 木 名 小 学 校 (6 名)	高 谷 正 敏		本 多 史 一
	長谷川 英 利		鎌 田 淳
	柳 澤 榮 子	富 里 南 中 学 校 (9 名)	相 京 貢
	竹 崎 めぐみ		平 山 和 年
	會 田 聡		杉 本 好 一
	鈴 木 美和子		本 橋 幸 子
			田 口 朋 有
			伊 藤 忠 典
			岩 名 春 雄
			佐 藤 卓
			関 口 晃 子

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

4. いじめ問題調査委員会

富里市いじめ調査委員会は、いじめ防止対策推進法(以下「法」)第14条第3項の規定により置かれ、教育委員会の諮問に応じ、いじめの防止等のための対策や法第28条第1項に規定する重大事態が発生した場合における事実の調査及び審査を行い、教育委員会に答申します。

氏 名	備 考
野 口 泰 三	弁護士
瀬 戸 愛 生	医師
村 松 励	臨床心理士
戸 村 広 二	教育相談員
並 木 進	大学講師
小 倉 明 子	社会福祉士・精神保健福祉士

任期：令和5年12月1日～令和7年11月30日

5. いじめ問題対策連絡協議会

富里市いじめ問題対策連絡協議会は、いじめの防止等を関係機関等と連携して推進するため、いじめ防止対策推進法第14条第1項の規定により置かれ、学校現場における児童生徒の状況や各校の未然防止策を確認し合い、いじめの防止等のための対策に必要な事項を協議します。

氏 名	備 考
飯 野 浩 二	市立小学校長
佐 藤 卓	市立中学校長
松 尾 一 毅	市立小学校教諭
折 目 大 河	市立中学校教諭
片 柳 朗	千葉中央児童相談所
高 松 千 尋	千葉県警察成田警察署
松 尾 一 絵	千葉県警察北総地区少年センター
高 安 輝 司	人権擁護委員
南 直 志	健康福祉部子育て支援課
吉 野 光 好	教育長
中 川 幸 雄	教育部長
中 澤 一 志	教育部教育総務課長
中 松 睦 浩	教育部学校教育課長
今 井 俊 幸	ふれあいセンター

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

6. 学校給食センター運営委員会

富里市学校給食センター運営委員会は、給食センターの適正な運営に関する事項について、調査及び審議を行っています。

役職	氏名	備考
会長	飯野 浩二	市立小学校長
副会長	平林 しのぶ	市PTA連絡協議会
	森口 真美子	市立幼稚園長
	龍岡 達子	市学校医
	山崎 秀幸	市長部局職員

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

7. 生涯学習推進本部

富里市生涯学習推進本部は、市の生涯学習推進施策を総合的に推進するために設置されています。

役職	氏名	備考
本部長	五十嵐 博文	市長
副本部長	山根 康夫	副市長
副本部長	吉野 光好	教育長
本部員	五十嵐 信幸	総務部長
本部員	中川 幸雄	教育部長
本部員	池内 実	生涯学習課長

8. 社会教育委員

富里市社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、社会教育に関する諸計画を立案し、会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べたり、それを行うための調査研究を行っています。令和5年度は、社会教育委員会議を2回行いました。

No.		氏名	推薦母体等	備考
1	学校教育関係	濱田 素子	校長会（小学校）	浩養小学校校長
2	〃	山本 典孝	校長会（中学校）	富里北中学校校長
3	〃	川上 悟	高等学校	富里高校校長
4	社会教育関係	伊藤 左千夫	青少年相談員連絡協議会	
5	〃	田口 朋有	PTA連絡協議会	
6	〃	田村 源矢	文化団体連絡協議会	
7	〃	小澤 清	スポーツ推進委員協議会	
8	〃	石川 賢治	スポーツ協会	副委員長
9	家庭教育関係	桤木 美菜	家庭教育学級連絡協議会	
10	学識経験	戸村 広二	元千葉県教育庁 印旛地方出張所 社会教育主事	
11	〃	内田 博通	民生委員児童委員協議会	委員長

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

9. スポーツ推進委員協議会

富里市スポーツ推進委員協議会は、市民に対するスポーツの実技指導・スポーツ活動の促進及び組織の育成などを行い、スポーツについての理解や興味を促進させることを目的としています。

No.	氏 名	専 門	No.	氏 名	専 門
1	会長 小 澤 清	ソフトテニス	9	渡 辺 さおり	バスケットボール
2	副会長 荒 和 男	バレーボール	10	片 岡 章 子	水泳
3	副会長 秋 葉 孝 之	陸上	11	薄 井 喜 次	ボッチャ
4	監事 奥 林 千賀子	バスケットボール	12	大 島 清 吾	野球
5	監事 久保園 あや子	剣道	13	石 田 正 弘	吹矢
6	高 山 文 男	軽スポーツ	14	秋 谷 英 毅	剣道
7	高 橋 香保里	硬式テニス	15	西 森 優 歩	ソフトバレーボール
8	伊 藤 一 樹	バスケットボール			

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

10. 青少年相談員連絡協議会

富里市青少年相談員連絡協議会は、青少年相談員を構成員として、青少年の体験活動の推進に加え、各相談員の資質の向上のため、情報交換、各種事業及び研修会等を行い、次世代を担う青少年の健全育成に役立つことを目的として組織的な活動を行っています。

担当学区	氏 名	備 考	担当学区	氏 名	備 考
富 里 (6名)	佐 伯 綾 子	監事・地区長	浩 養 (5名)	森 重 和 也	地区長
	宇 多 茂 樹			皆 川 潤 一	
	川 野 賢			青 木 智 大	
	渋谷 貞 治			松 本 隆 正	
	小 泉 貴 浩			高 橋 正 泰	
	星 田 智恵子		日吉台 (8名)	菅 原 正 広	副会長・地区長
富里第一 (5名)	内 田 恵美子	副会長・地区長		小 幡 健二郎	会 長
	内 田 萌 心	広 報		新 眞紀子	広 報
	澤 邊 一 也			石 橋 元	会 計
	松 本 天			伊 藤 宣 一	
	相 川 友 美			小 原 文 明	
富里南 (8名)	秋 葉 潤 一	地区長		麻 生 もえ子	
	千 脇 直 樹	副会長		藤 崎 真由美	
	田 辺 操		根木名 (5名)	菊 池 好 子	監事・地区長
	金 谷 美 雪			秋 山 秀 一	
	佐 野 仁 子			植 田 こずえ	会 計
	長 森 陽 平			米 本 綾 乃	
	橋 本 全 一			仮 屋 純 子	
	木 村 泰 男		七 栄 (5名)	伊 藤 左千夫	地区長
				関 勝 広	
				出 山 裕 樹	
				椎 名 孝 明	
				高 橋 崇 宏	

任期：令和4年4月1日～令和7年3月31日

11. P T A連絡協議会

富里市P T A連絡協議会は、児童・生徒の健全な育成をめざして、よりよいP T A活動の推進を図るため、市内小・中学校の密接な連携を目的としています。(総数2,752名)

(1) P T A連絡協議会役員

No.	役 職	氏 名	所 属	備 考
1	会 長	越 川 彩 子	富里南小学校	P T A会長
2	副 会 長	大 木 彩	富里第一小学校	P T A会長
3	副 会 長	鎌 田 栄 治	七栄小学校	校長
4	監査委員	山 下 靖 子	富里中学校	P連前会長
5	監査委員	新 井 潤一郎	日吉台小学校	教頭
6	幹 事	吉 田 幸 司	富里南小学校	教頭
7	幹 事	山 本 博 康	富里第一小学校	教頭
8	幹 事	中 嶋 秀 州	七栄小学校	教頭

任期：令和6年4月1日～令和7年3月31日

(2) 各校P T A役員一覧

学校名	役職名	氏 名	学校名	役職名	氏 名
富 里 小 学 校	会長	岩 澤 佑 介	富 里 中 学 校	会長	平 林 し の ぶ
	校長	大 澤 昌 宏		校長	上 田 義 朗
	教頭	東 孝 明		副校長	本 多 史 一
富里第一小学校	会長	大 木 彩		教頭	鎌 田 淳
	校長	寺 内 勝 也	富里北中学校	会長	三 須 徹 也
	教頭	山 本 博 康		校長	山 本 典 孝
富里南小学校	会長	越 川 彩 子		教頭	松 本 武 大
	校長	濱 田 素 子	富里南中学校	会長	平 山 和 年
	教頭	吉 田 幸 司		校長	佐 藤 卓
日吉台小学校	会長	越 川 美 佳		教頭	関 口 晃 子
	校長	松 田 大 助			
	教頭	新 井 潤一郎			
根木名小学校	会長	竹 崎 めぐみ			
	校長	會 田 聡			
	教頭	鈴 木 美和子			
七 栄 小 学 校	会長	佐 藤 勇 樹			
	校長	鎌 田 栄 治			
	教頭	中 嶋 秀 州			

任期：令和6年4月1日～令和7年3月31日

12. 家庭教育学級

富里市家庭教育学級は、市内各公立幼稚園、小・中学校にて1学級ずつ開設されています。各幼稚園、小・中学校の保護者を学級生として、年間5回程度の学習会を行っています。親の不安や悩みを解消する、子育てに関する視野を拡大する、我が家の家庭教育の問題点を発見する、親自身を成長させる等の内容を、年間計画に組み入れて活動しています。また、市内12学級の連絡調整・研修・情報交換することを目的とし、各学級長による連絡協議会を組織しています。

No.	学級名	学級長氏名	備 考
1	浩養幼稚園（たけのこ）	金 杉 瑞 希	会計
2	富里幼稚園（ひまわり）	丸 林 愛 里	
3	富里小学校（すみれ）	菊 池 知 香	監事
4	富里第一小学校（たんぽぽ）	秋 葉 真理恵	
5	富里南小学校（なずな）	岩 井 仁 霞	副会長
6	浩養小学校（うぐいす）	斉 藤 美智子	
7	日吉台小学校（なのはな）	虻 川 涼 子	監事
8	根木名小学校（杉の子）	北 野 絵 美	
9	七栄小学校（銀杏）	桎 木 美 菜	会長
10	富里中学校（明日葉）	伊 橋 友紀子	
11	富里北中学校（ひばり）	佐 藤 智 子	
12	富里南中学校（わかば）	石 澤 美 香	

13. ユネスコ協会

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の活動は、教育・科学・文化を通じて国際協力を推進し、世界の平和と安全に貢献することを目的に行われています。富里ユネスコ協会は、ユネスコ憲章の精神に基づき、市民の間におけるユネスコ活動の推進を図り、国際相互の理解と親善に努め、世界の平和と人類の共通の福祉という目的を促進するための活動を行っています。

（会員総数 21名）

No.	役 職	氏 名	No.	役 職	氏 名
1	会 長	森 久	8	理 事	綿 貫 啓 子
2	副 会 長	高 橋 賢 治	9	監 事	内 藤 節 子
3	副 会 長	寺 内 勝 也	10	監 事	高 宮 弘 子
4	会 計	小 高 なを美	11	顧 問	五十嵐 博 文
5	理 事	逸 見 加代子	12	顧 問	高 橋 祐 子
6	理 事	林 喜美子	13	事務局長・理事	宮 島 孝 仁
7	理 事	山 本 博 康			

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

14. 文化団体連絡協議会

富里市文化団体連絡協議会は、文化の向上に貢献し、各種芸能文化団体相互の理解を深めるとともに、市の芸術文化の振興に寄与することを目的としています。令和4年度の会則の一部改正により、現在は3部門16団体で構成され、敬老会や文化祭での芸能文化活動、慰問活動、広報紙の発行など広く活動しています。（総会員数312名）

<部 門>

文芸・吟道、美術、手工芸、園芸・料理・将棋囲碁、華道・茶道、邦楽・民謡、
歌謡・音楽、舞踊・ダンス、健康体操、国際文化交流・子ども文化
(総部門数 10部門)

No.	役 職	氏 名	担当部門	サークル数
1	会 長	前 村 美奈子	芸術	5
2	副 会 長	相 川 博 子	芸術	-
3	副 会 長	田 村 源 矢	文化	-
4	事務局長	木 内 季 宏	芸能	6
5	会 計	小 川 勇	芸能	-
6	会 計	中 村 博 司	文化	5
7	監 事	小 山 恒 生	文化	-
8	監 事	引 田 敏 英	芸術	-

任期：令和5年6月28日～令和7年度総会日

15. 文化財審議会

富里市文化財審議会は、富里市に所在する文化財の保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に答え、又は意見を具申し、これらに必要な調査研究を行っています。

No.	役職	氏 名	専門分野
1	委 員 長	木 原 律 子	美術史（彫刻）・民俗学
2	副委員長	高 橋 覚	日本史（近世・近代）
3	委 員	蜂 屋 孝 之	考古学（原始）
4	委 員	藤 木 竜 也	建築史学（近代日本建築史）
5	委 員	松 田 富美子	考古学（古代）
6	委 員	荒木田 安 示	日本史（近世・近代）
7	委 員	櫻 本 史 夫	植物学（樹木医）

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

16. 旧岩崎家末廣別邸保存活用整備検討委員会

旧岩崎家末廣別邸保存活用整備検討委員会は、国登録有形文化財である「旧岩崎家末廣別邸」の保存・活用・整備に関し、教育委員会の諮問に答え、又は意見を具申し、これらに必要な調査研究を行なっています。

No.	役職	氏 名	専門分野
1	委員長	河 東 義 之	近代建築史学
2	副委員長	藤 井 英二郎	造園学・環境植栽学
3	委 員	鎌 田 元 弘	都市・農村計画学
4	委 員	山 崎 鯛 介	建築史学・建築意匠
5	委 員	松 井 敏 也	文化財保存科学

任期：平成29年7月13日～委員会所掌事務終了まで

17. 富里市文化財保存活用地域計画協議会

文化財保護法に規定する文化財保存活用地域計画の作成及び変更に関する協議並びに認定文化財保存活用地域計画の実施に係る連絡調整を行うことを目的とし、庁内の委員及び外部の各分野からの委員によって構成される協議会です。

No.	役職	氏 名	所属等
1	委 員	中 川 幸 雄	教育部長
2	委 員	五十嵐 信 幸	総務部長
3	委 員	栗 原 裕 次	総務部防災課長
4	委 員	小 川 正 久	総務部市民活動推進課長
5	委 員	山 崎 秀 幸	企画財政部経営戦略課長
6	委 員	山 中 昭	健康福祉部健康推進課長
7	委 員	永 田 健 矢	経済環境部農政課長
8	委 員	林 田 利 之	経済環境部商工観光課長
9	委 員	藤 田 康 孝	経済環境部環境課長
10	委 員	小 川 幸 宏	都市建設部都市計画課長
11	委 員	中 松 睦 浩	教育部学校教育課長
12	委 員	菅 澤 由 希	千葉県教育庁教育振興部文化財課
13	委 員	青 柳 隆	末廣倶楽部（文化財保存管理ボランティア団体）
14	委 員	藤 木 竜 也	千葉工業大学・富里市文化財審議会委員
15	委 員	松 永 達 人	富里市商工会専務理事
16	委 員	南 條 正 和	特定非営利活動法人富里市観光協会副会長

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

18. 図書館協議会

富里市図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応じ、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に意見を述べる機関として設置されています。

No.	役職	氏 名	備 考
1	会 長	寺 内 勝 也	市立小学校長
2	副会長	高 橋 正 名	日本図書館協会専務理事
3		内 野 智 子	市立幼稚園長
4		山 森 大 樹	市立小学校教諭
5		塚 本 さとみ	学校図書館司書
6		越 川 美 佳	市P T A連絡協議会
7		三 浦 光 子	図書館ボランティア「もりのなか」代表
8		長 谷 円	市社会福祉協議会ボランティアコーディネーター
9		渡 邊 義 幸	社会教育指導員

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日



Ⅱ．学校・学級数、児童・生徒数、中学校卒業後の状況

(1) 学校・学級数、児童・生徒数

1 小学校

(各年5月1日現在)

年	学校数	学級数	教員数	児 童 数	特別支援学級 児童数 (内数)
H27	8	103	152	2,382	(68)
28	8	103	150	2,305	(68)
29	7	99	143	2,275	(71)
30	7	100	143	2,280	(78)
R1	7	101	148	2,272	(81)
2	7	99	145	2,251	(83)
3	7	95	140	2,201	(90)
4	7	93	140	2,128	(79)
5	7	94	144	2,079	(74)
6	7	94	138	2,026	(84)

2 中学校

(各年5月1日現在)

年	学校数	学級数	教員数	生 徒 数	特別支援学級 生徒数 (内数)
H27	3	45	94	1,244	(43)
28	3	47	97	1,284	(35)
29	3	45	94	1,219	(40)
30	3	46	95	1,188	(45)
R1	3	45	90	1,107	(43)
2	3	43	91	1,145	(44)
3	3	43	88	1,155	(42)
4	3	45	85	1,155	(47)
5	3	43	81	1,116	(48)
6	3	41	80	1,109	(41)

(2) 中学校卒業後の状況

(各年5月1日現在)

	卒業生 総 数	進学者				教育訓練機関入学				就 職 者	左 記 以 外 の 者	死 亡 ・ 不 詳	特 別 支 援 高 等 部
		高等学校等		高専	合計	専修	各種	職訓	合計				
		全 日	定・通										
H27	408	390	7	2	399	0	0	0	0	4	0	0	5
28	402	378	4	0	382	0	0	0	0	2	9	0	9
29	441	398	26	1	425	0	0	0	0	3	8	0	5
30	400	379	11	3	393	0	0	0	0	1	2	0	4
R1	450	411	22	0	433	0	0	0	0	1	11	0	5
2	375	343	11	0	354	0	6	0	6	4	6	0	5
3	371	334	21	2	357	0	0	0	0	2	3	0	9
4	377	332	26	3	361	0	0	0	0	0	10	0	6
5	404	352	34	4	390	0	2	1	3	0	8	0	3
6	386	328	44	2	374	0	0	0	0	0	10	0	2

Ⅲ. 児童・生徒の体力

１ 体力・運動能力テスト

(１) 小学校低・中学年 体力・運動能力テスト結果

(令和５年度)

種 目	各平均値	１ 年		２ 年		３ 年		４ 年	
		男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
握 力 (kg)	富 里 市	8.67	8.25	10.19	8.09	12.39	17.07	14.38	13.77
	千 葉 県	9.69	9.09	11.32	10.74	13.11	12.48	14.89	14.44
上体起こし (回)	富 里 市	10.15	10.53	13.54	13.36	15.58	14.30	22.25	16.47
	千 葉 県	12.15	11.46	14.48	14.20	16.39	15.55	17.92	17.25
長座体前屈 (cm)	富 里 市	28.00	31.38	27.12	30.51	30.96	34.27	32.09	35.64
	千 葉 県	27.15	29.40	29.03	31.88	30.47	34.02	32.43	36.67
反復横とび (回)	富 里 市	28.47	27.97	29.80	23.57	33.87	32.03	37.39	36.01
	千 葉 県	27.55	26.64	31.22	30.30	34.47	33.19	37.96	36.61
20m シャトルラン (回)	富 里 市	18.09	15.28	25.29	19.07	30.49	22.68	34.93	28.59
	千 葉 県	19.67	15.91	27.18	21.84	33.45	26.44	39.89	32.20
50m走 (秒)	富 里 市	11.55	11.78	10.58	11.10	10.22	10.60	9.83	10.14
	千 葉 県	11.22	11.60	10.54	10.79	10.01	10.33	9.65	9.89
立ち幅とび (cm)	富 里 市	114.81	105.27	124.25	113.01	132.19	124.26	139.60	130.73
	千 葉 県	116.24	109.09	126.66	119.02	136.65	129.57	144.51	137.49
ソフトボール 投 げ (m)	富 里 市	8.20	5.89	11.05	7.35	13.96	9.56	15.90	10.62
	千 葉 県	8.64	5.99	11.65	7.84	14.67	9.72	17.94	11.64

(2) 小学校高学年 体力・運動能力テスト結果

(令和5年度)

種 目	各平均値	5 年		6 年	
		男 子	女 子	男 子	女 子
握 力 (kg)	富 里 市	16.33	16.13	20.26	19.65
	千 葉 県	17.51	17.28	21.47	20.21
上体起こし (回)	富 里 市	19.24	17.98	20.61	20.16
	千 葉 県	20.77	19.17	22.43	20.02
長座体前屈 (cm)	富 里 市	35.40	39.71	41.18	45.54
	千 葉 県	35.91	40.12	38.49	43.09
反復横とび (回)	富 里 市	39.66	38.87	42.69	42.09
	千 葉 県	43.06	40.66	46.23	43.21
20mシャトルラン (回)	富 里 市	44.32	35.21	50.46	41.60
	千 葉 県	49.94	39.51	58.11	43.17
50m走 (秒)	富 里 市	9.59	9.73	9.04	9.23
	千 葉 県	9.16	9.45	8.69	9.13
立ち幅とび (cm)	富 里 市	153.41	145.15	162.87	155.22
	千 葉 県	156.79	149.29	170.59	156.16
ソフトボール投げ (m)	富 里 市	18.50	13.09	21.59	14.32
	千 葉 県	21.22	13.79	25.02	15.38

(3) 中学校 体力・運動能力テスト結果

(令和5年度)

種 目	各平均値	1 年		2 年		3 年	
		男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
握 力 (kg)	富 里 市	23.86	21.34	29.19	23.31	34.28	25.10
	千 葉 県	24.14	21.22	29.44	23.42	34.14	25.23
上体起こし (回)	富 里 市	24.08	20.63	26.47	22.58	29.16	24.12
	千 葉 県	22.96	20.31	25.83	22.27	28.48	23.59
長座体前屈 (cm)	富 里 市	39.74	45.45	43.47	45.93	46.97	47.26
	千 葉 県	41.45	44.69	45.95	47.40	50.16	50.34
反復横とび (回)	富 里 市	47.73	42.39	51.85	46.51	55.30	47.41
	千 葉 県	48.10	44.54	51.65	46.00	54.63	46.94
20mシャトルラン (回)	富 里 市	57.78	41.08	82.44	54.52	85.98	51.05
	千 葉 県	63.24	46.86	78.96	52.43	86.65	52.42
50m走 (秒)	富 里 市	8.74	9.12	7.82	8.74	7.41	8.77
	千 葉 県	8.49	9.03	7.81	8.80	7.41	8.69
立ち幅とび (cm)	富 里 市	182.39	163.03	201.92	168.84	210.07	173.59
	千 葉 県	180.80	161.95	198.50	168.86	213.41	166.01
ハンドボール投げ (m)	富 里 市	15.24	9.99	18.60	11.96	21.13	12.25
	千 葉 県	16.98	11.09	19.71	12.27	22.53	12.44

IV. 学校医・学校歯科医及び学校薬剤師

(令和6年4月1日現在)

区分	氏名	新任・再任	校数	富里幼稚園	浩養幼稚園	富里小学校	富里第一小学校	富里南小学校	浩養小学校	日吉台小学校	根木名小学校	七栄小学校	富里中学校	富里北中学校	富里南中学校
学校医（内）	1 黒 須 典 代	再任	3		◎				◎						○
	2 吉 川 秀 一	再任	2			○						◎			
	3 廣 瀬 晴 美	再任	1							○					
	4 坂 本 史 彦	再任	1							◎					
	5 渡 部 慎 司	再任	1								◎				
	6 龍 岡 穂 積	再任	1										◎		
	7 龍 岡 達 子	再任	1			◎									
	8 中 原 正 男	再任	2					○							◎
	9 我 妻 道 生	再任	1										○		
	10 戸 村 好太郎	再任	1					◎							
	11 鈴 木 宏	再任	2	◎			◎								
	12 清 野 晃 吉	再任	1										○		
	13 宮 本 雅 治	再任	1											◎	
学校医（耳鼻）	14 野 本 実	再任	10	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
	15 池宮城 慶 寛	再任	1					○							
	16 池宮城 芙由子	再任	1												○
学校医（眼）	17 高 橋 英 敏	再任	4			○					○	○			○
	19 西 尾 威	再任	1										○		
	20 呉 香 代	再任	7	○	○		○	○	○	○				○	
学校歯科医	1 弓 立 孝	再任	3		○			○	○						
	2 内 田 啓 二	再任	4	○		○					○	○			
	3 高 橋 直 樹	再任	1				○								
	4 秋 山 満	再任	2							○				○	
	5 松 本 聖 樹	再任	1												○
	6 椎 名 直 樹	再任	1										○		
	7 宮 内 泰 雄	再任	1										○		
学校薬剤師	1 小 川 洋 子	再任	3		○			○	○						
	2 鈴 木 康 予	再任	3			○	○				○				
	3 湯 浅 恵美子	再任	3							○			○	○	
	4 木佐木 紀 子	再任	2	○								○			
	5 石 川 陽 一	再任	1												○

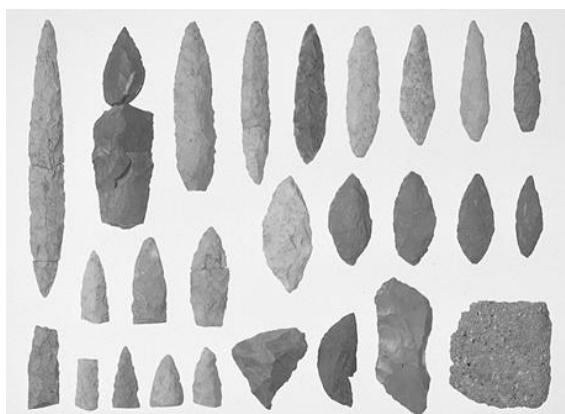
任期：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで ◎は健康管理医兼任

V. 県・市指定文化財

1 富里牧羊場跡(県指定文化財)

明治8年、時の内務卿大久保利通は、殖産興業の一つとして毛織物の原料となる羊毛の国内自給を図るため、わが国で最初の牧羊場を富里市の十倉、七栄等に開設し、事務所を両国に置きました。

ここは西洋式牧畜の発祥の地として記念すべき地であり、大久保卿の画期的な計画を顕彰して明治26年に記念碑が建立されました。



2 南大溜袋遺跡(県指定文化財)

昭和47年、成城大学が発掘調査を実施し、関東ローム層の中から石槍137点と多量の剥片が出土しました。

千葉県下で、これほど多くの石槍が発見されたのはこの遺跡が初めてであり、旧石器時代から縄文時代への移り変わりを知る上で重要な遺跡と考えられています。

3 佐倉牧の牧士資料(県指定文化財)

北総の地は、古くから馬の放牧が盛んで、江戸幕府はこの地に佐倉牧を設け、軍馬の供給を図りました。佐倉牧はさらに七牧に分かれ、その範囲は現在の成田、八街、富里、香取等の各市町にわたっていました。

久能の藤崎家は、天保4年(1833)に二代目勝左衛門が牧士に任じられ、その後代々江戸幕府の牧士を務めました。

牧士は、苗字帯刀のほか、麻袖の着用、乗馬や鉄砲の所持を許された身分で、勢子を使い、牧内の水や樹木の手入れ、馬の管理に従事しました。



4 中沢城址（市指定文化財）

中沢城址は、室町時代後半に千葉氏の城として築造され、現存する市内の城址の中では、最もよく形が残されています。

中央部には館が建てられていたと考えられ、非常時には農兵とともに、こもって敵襲に備えたと考えられます。



5 大久保卿牧羊場選定の碑

（市指定文化財）－豊受神社－

明治8年5月、内務卿大久保利通によって近代牧畜の必要性が説かれ、政府は東京勧業寮試験場内に牧羊開業取調掛（係）を置き、本格的な牧羊場建設用地の選定に当たりました。

その際、大久保卿が本市のこの地にきて高い土手に上がって四方を望見し、ここを適地と定め下総牧羊場を開設し、それを記念して建立された碑です。



6 宝篋印塔（市指定文化財）－昌福寺－

宝篋印塔とは、平安時代中期に中国から伝わったもので、その名は塔の中に「宝篋印陀羅尼經」を納めたことによります。

この塔は、新橋区字東長作の畑中から出土したもので、基礎部に応永33年（1426）の銘が刻まれており、市内中世遺物の中で年号の確認できる唯一のものです。

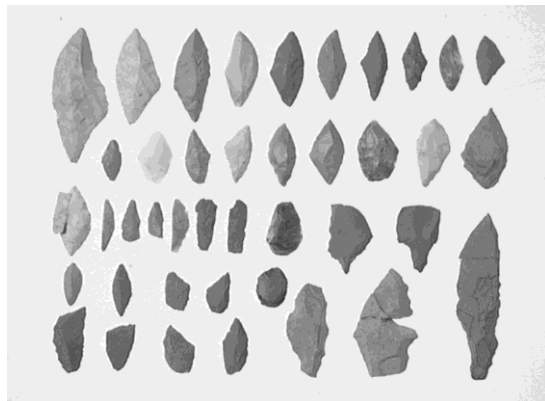
高さは80cmで反花の部分を欠きますが、小型ながら整った形を保っています。

7 ひがしうちのいせき 東内野遺跡（市指定文化財）

昭和51年に行われた調査で、関東ローム層の中から13,000点にもおよぶ膨大な数の石器が出土しました。

槌状剥離と呼ばれる特殊な加工が行われた尖頭器が多く発見されたため、遺跡の名を冠して「東内野型尖頭器」が提唱されました。

この遺跡は大きな水溜りを中心に残されたものと考えられており、旧石器時代の生活を知る上で貴重な遺跡となっています。

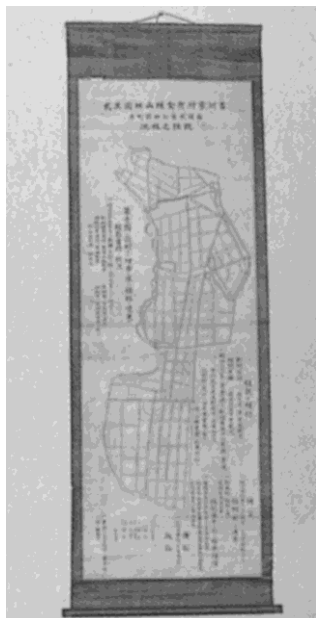


8 きつかわしよくりんけいかくず 吉川植林計画図（市指定文化財）

— 一個人蔵（非公開） —

明治15年、現在の金堀区、吉川区、四区に総面積271町9反歩を子爵、吉川経健が農場として購入し、農場経営を行いましたが経営が好ましくなく植林経営に転じました。

その時の経営計画図4点が残され、当時を知る上では貴重な資料です。



9 こうやろくじぞう ろくかんのん 高野六地藏・六観音（市指定文化財）

高野区稲持地先にあり享保3年（1718）造立。笠付角柱型で三面にそれぞれ二体ずつ、上段に六地藏、下段に六観音を配した珍しいものです。高さ133cm、一面の幅53cm。

衣文などの表現もかなり簡略化されていますが一体一体でいねいに仕上げてあり、全体の均衡も整っています。



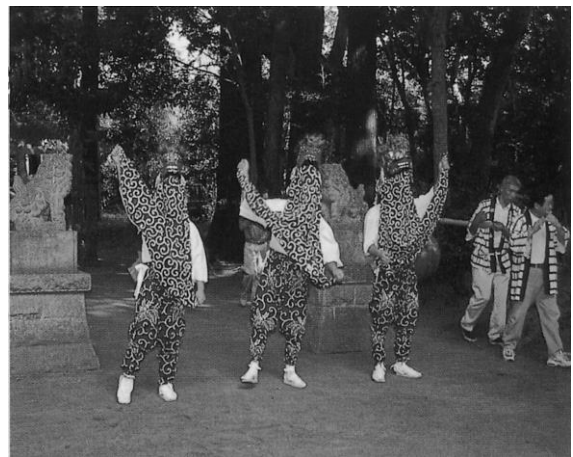
10 ^{く の う し し ま い} 久能獅子舞（市指定文化財）

— 駒形神社 —

例年4月3日と8月28日（現在は8月最終日曜日）の春秋2回の祭礼の日に久能の駒形神社の殿前で演じられています。

獅子は、雄獅子、中獅子、雌獅子で、数本の笛と大太鼓1、小太鼓1の獅子囃子の演奏に合わせて舞います。

演目には、三切太鼓、雄獅子の舞、雌獅子の舞、中獅子の舞、喧嘩の舞、仲直りの舞があります。



11 ^{ぶ し ゅ う ば や し} 武州囃子（市指定文化財）

— 武州神社 —

明治初期、埼玉県から移住した人々が武州地区を開墾しましたが、30年代になり祖先に伝わる囃子を始めました。

武州囃子は、囃子と15分程度の寸劇で構成され、10月17日武州神社で演じられていましたが、現在は活動を休止しています。

12 ^{な か ざ わ む ぎ お ど} 中沢麦つき踊り（市指定文化財）

— 稲荷神社 —

中沢麦つき踊りは、もともと麦をつくときに歌われていた麦つき歌に踊りが伴い、麦つき踊りとして中沢地区に伝わっているものです。

いつごろから歌われていたかはわかりませんが、明治の末ごろには、寄り合いのたびごとに、人々が歌い踊って共に楽しんでいたといわれ、素朴な和合の芸能として今に伝えられています。

この踊りは、10月17日に中沢稲荷神社で演じられています。



13 太政官高札 だ じょう かん こう さつ

(市指定文化財)

明治元年3月14日に、「広く会議を興し万機公論に決すべし」などで知られる「五箇条御誓文」が出され、同じ日に一般庶民に対して5条の禁令が布告され、「五榜の掲示」といわれたものが太政官高札です。

これには、殺人・盗賊・徒党・強訴・キリスト教・逃散・外国人との諍い・本国走などの禁令が示されていました。



聖徳太子二歳立像実測図

14 木造聖徳太子二歳立像 もく ぞう しょう とく たい し に さ い り ゆ う ぞう

(市指定文化財)

木造聖徳太子二歳立像（南無仏）は、平成5年に再建された太子堂内に安置されていた木造の仏像です。秘仏のため、これまでは60年に一度の開帳とされていましたが、堂の再建を機に10年に一度の開帳となりました。

制作時期は、形状、像容等から推測して鎌倉時代から室町時代と考えられます。また、聖徳太子信仰発祥地の奈良地方のものと比べてもなんら遜色はありません。

聖徳太子二歳立像は、県内において、また関東においても類似するものが少ないことから、富里市の日吉倉に聖徳太子二歳立像が存在していること自体極めて貴重であるといえます。

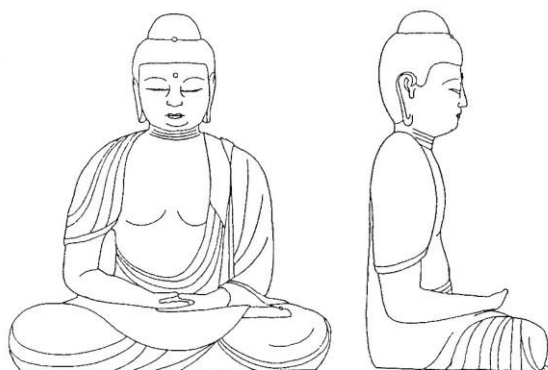
15 木造釈迦如来坐像 もく ぞう しゃ か に よ ら い ざ ぞう

(市指定文化財)

木造釈迦如来坐像は、形状等から判断して地方色が強い像で、近在で造られたものと考えられます。

どのような縁で日吉倉に安置したのかは不明であるが、今のところ富里市では非常に古い平安時代末期から鎌倉時代初期の像と考えられます。

また、両手が補修によるものであり造像当初とは異なっている可能性もありますが、現在の像の印相が禪定印（法界定印）であるため釈迦如来としました。



釈迦如来像実測図

16 新橋観音堂の石造物群（市指定文化財）

新橋観音堂の石造物群は、馬頭観音像塔 3 基、十五夜講塔 1 基、下総型板碑 1 基で構成されています。

馬頭観音像塔は、それぞれ延享元（1744）年、安永 2（1773）年、文化 4（1807）年に造立されたもので、光背型の半肉彫りによる像塔です。市内には 16 基の馬頭観音像塔が確認されていますが、延享元年のものは市内で最も古いものであり、富里での馬頭観音信仰の始まりを考える上で重要です。

十五夜講塔は市内で唯一、新橋観音堂境内のみで確認されています。高さは 50.5cm を測り、光背型で右手に錫杖、左手に宝珠を持つ延命地藏菩薩の立像が半肉彫りされ、正面には「奉供養十五夜講成就之攸 延享四丁卯十月 善男女」と「願主浄順」の銘文が見られます。本市の十五夜講の存在を裏付ける貴重な資料です。

下総型板碑は絹雲母片岩の 1 枚岩を利用した「石製塔婆」であり、高さ 110cm、幅 65cm を測ります。正面中央にはキリーク（阿弥陀如来）、その左下にはサ（観音菩薩）、右下にはサク（勢至菩薩）の種子（しゅじ）が刻まれ、その左右の縁近くには各五種子が刻まれています。向かって右側の種子（バン＝大日如来、バイ＝薬師如来、カ＝地藏菩薩、マン＝文殊菩薩、カーン＝不動明王）のみが判読されます。銘文には「孝子等敬白」の字句があり、亡き親の追善供養のために遺子達が造立したものであることがわかります。本市以南においては、下総型板碑の造立例は確認されていないことから、下総型板碑の分布南限を示す貴重な例といえます。



前列：左 馬頭観音像塔（安永 2 年）
中 馬頭観音像塔（延享元年）
右 十五夜講塔

後列：左 下総型板碑
右 馬頭観音像塔（文化 4 年）

17 大和の福寿草群落

（市指定文化財）

大和の福寿草は故折目庸雄氏によって研究され、その特徴から日本に自生する 4 種類の福寿草のうち、陸奥福寿草（ミチノクフクジュソウ）であると報告されています。

福寿草はキンポウゲ科フクジュソウ属の多年草で、本州（東北・関東・中部）と九州地方という広い地域に分布しています。環境省のレッドデータブックでは「絶滅の危険が増大している種」である、絶滅危惧Ⅱ類（VU）にランク付けられており、全国的にも盗掘による個体数減少が懸念されています。千葉県内では、本市と成田市（旧大栄町）のみでしか自生が確認されていない希少種であり、自生地の保護と適切な管理が望まれます。



18 おおわ くもんじょ 大和区文書 (市指定文化財)



大和区文書は、近世～現代に至るまでの864点の史料で構成されており、その内、土地に関わるもの59点が指定されました。

これらの中には、下総における徳川氏の最初の検地を示す「下総国印東庄大輪御縄水帳（天正19（1591）年）や、「下総国印旛郡大和新田検地帳（享保16（1731）年）」、近世大和村の姿を考える上で大変重要な史料である「下総国印旛郡大輪村検地帳（宝永5（1708）年）」、「下総国印旛郡大和村新田改帳（正徳2（1712）年）」、「下総国印旛郡大和村新田林畑水帳（延享2（1745）年）」などが含まれています。中でも「下総国印東庄大輪御縄水帳」は写本ではあるものの、印旛郡内において比較的早い時期に富里市域で検地が実施されていたことを今に伝える史料であること、宝永5年の「下総国印旛郡大輪

村検地帳」が、天正19年から100年以上の時を経て作成され、ここに記載されている内容がこれ以後の時代の基本データとなっていると考えられることが重要です。また、この文書の末文には「古水帳無之反別位附不分明ニ付改之・・・」とあることから、宝永5年の時点で天正19年作成と考えられる古い水帳（原本）が存在していなかったことも推測できます。

これら史料群は、土地についての記載や村内の取り決めなど、近世から現代に至るまでの大和地区の土地利用形態の変遷を窺い知ることのできる貴重な史料です。

19 みたにたねまさくようとう 三谷胤政供養塔 (市指定文化財)



三谷胤政の一族は、千葉四郎胤広^{たねひろ}を始祖とする氏族であり、昭和50年に刊行された『横芝町史』では、千田^{ちだのしょう}荘内の中村郷三谷村^{なかむらごうみたにむら}（現多古町）が出自地との説が提起されています。このことから、同所より富里に移り住み、富里での勢力を拡大させていった一族であったと考えられています。また、応永13（1406）年に記された「香取造営料足納帳」には、中沢に居住した三谷一族^{ちぎょうち}の知行地が記されており、この地にかなりの勢力を有していたことが明確です。

この史料の後、三谷氏に関する史料は確認されていないことから、その動向については不詳ですが、寺伝では中沢昌福寺が江戸初期の慶長年間に三谷胤政の開基によるものであると伝えられています。これを参考とすれば、三谷氏が15世紀初頭^{さいちどこう}から16世紀末までの間、連綿と富里において在地土豪の地位を保っていたと考えられます。しかし、この像は様式的に見て慶長年間に造立されたものではないと考えられ、おそらくは17世紀から18世紀初頭の作であると判断されます。しかし、丁寧な彫りによって均整のとれた像容を示す大型の石造物であること、また、中沢地区に所在する千葉氏関連遺構などとの関係を考慮すれば、富里と三谷氏、ひいては千葉氏と富里の関係をうかがい知る上で貴重な文化財です。

20 センダイタイゲキ及びカタクリ自生地（市指定文化財）

センダイタイゲキ（仙台大戟）はトウダイグサ科トウダイグサ属に属する植物で、草丈30cm程度になる多年草です。分布・生育地の中心は本州（関東地方以北）であり、山地の湿った場所などに良く生育し、乾燥が進むと消滅してしまう恐れがあります。

センダイタイゲキは国のレッドデータブックに掲載された準絶滅危惧種であり、千葉県の重要保護生物にもなっています。また県内においては、現在確実な自生地は富里市のみであり、自生地としても南限であることから大変貴重な植物といえます。

カタクリはユリ科ユリ属に属する多年草です。日本各地に分布しており、比較的光の差す落葉広葉樹林に好んで群生し、早春に下を向いた薄紫から桃色の花を咲かせます。発芽してから7～8年は葉のみで栄養を蓄え、9年目以降にやっと花を咲かせることも特徴です。

カタクリも千葉県の重要保護生物となっていますが、自然環境の変化によって数が減っているのではなく、花の美しさから観賞・販売目的での盗掘によって絶滅寸前にまで追い込まれている植物であり、センダイタイゲキと共に自生地の適切な管理と保護が望まれます。



センダイタイゲキ



カタクリ

21 駿馬鎌倉の碑（市指定文化財）

しゅんめかまくら

「鎌倉号」は久能村の豪民、藤崎忠貞氏が所有していた南部駒です。明治14年に横浜競馬会に初出走し、並居る競合を押さえて優勝します。

その後、2年間に48戦32勝という記録を残しますが、度々単走（他の出走馬が勝ち目なしと判断して競争を回避し、残った1頭が馬場を一周して勝利馬になるレース）で優勝を果たしており、当時の競馬界を席捲していました。

しかし、絶頂期にあった明治16年7月6日、突然の病に襲われ、藤崎氏の手厚い看護も空しく、8月3日に死亡してしまいます。

この碑は、鎌倉号の死を悼んだ藤崎氏が生前の功績を称えて墓所に建立したのですが、馬事研究家早坂昇治氏の研究によれば、鎌倉号の墓碑は国内で確認された馬の墓碑として最も古いものである可能性が指摘されており、馬の墓碑研究からも貴重な資料といえます。碑文からは忠貞氏の鎌倉号に寄せる深い愛情を感じることができ、両者の絆を今に伝えています。



22 ^{すえひろ}末廣農場実測図（市指定文化財）

明治政府の窮民救済政策によって開墾地となった七栄では、開墾が思うように進まないことから開墾者が富里を去り、政府は開墾地の払い下げを行います。

それらの土地343町歩については、三菱財閥二代目岩崎彌之助氏が購入することとなり、明治44年に同所で養鶏、養豚事業が開始され、大正元年には「末廣農場」と名付けられました。

その後、末廣農場の経営は「小岩井農場」の経営者でもあった、三菱財閥三代目岩崎久彌氏に引き継がれることとなり、養鶏等に関するさまざまな研究成果は千葉県農業技術の近代化の基盤を築いたといえます。しかし、第二次世界大戦後の農地解放施策によって施設は千葉県に譲渡されることとなり、昭和46年には新東京国際空港の代替地となってその歴史に幕が下ろされます。

「末廣農場実測図」は、その記載から大正3年2月に農場総面積把握のために製作されたものであることが明白ですが、実測及び作図については作業名等の記載がなく不明です。平成21年に庁舎内に保管されていることがわかったものであり、当市においては同農場の様子を窺い知る紙資料の初めての発見となりました。なお、当市に保管されていた経緯については不明です。

実測図は長さ5m30cm、幅1m60cmを測るロールケント紙を用いて作成されており、縮尺1200分の1で農場全体図を三分割して記載しています。図を詳細に観察すると測点と考えられる位置には針による微小な孔が多数存在しており、原図から針を用いて大型の本紙に転写したものであることがわかります。また、測点の数が非常に多く、対象地を綿密に測量しようとした意図が窺えます。

なお、ケント紙が日本で生産されるようになるのは昭和8年からであり、大正2年までは海図用として英国から輸入していたことがわかりました。本図が大正3年に作成されていることから、このケント紙は英国製である可能性が高いと考えられます。

23 ^{すえひろ}旧末廣農場跡（市指定文化財）

明治20年、旧下総種畜場（当時は御料局高堀出張所と呼ばれていた）の用地343町歩を岩崎彌之助（三菱財閥二代目）が購入し、農業と畜産事業を予定しますが、地力が弱かったことから松・杉・桧など111万本を植林して三菱社の「下総植林事業所」が設けられました。その後、大正元年に至り、彌之助の甥である岩崎久彌（三菱財閥三代目）によって「末廣農場」が開設されることとなり、養鶏では最高8000羽、養豚では最高1000頭が飼育され、ハム・ソーセージ・ベーコンなどの加工品が生産されていました。

昭和20年、敗戦を迎えた第二次世界大戦の終結から昭和27年にかけて行われたGHQの占領政策により、財閥解体と農地解放が推し進められたことから「末廣農場」は閉鎖への道を辿ることになります。農場の120町歩については当時の富里村に譲渡されることとなり、200町歩については農場従業員の帰農者に払い下げが行われ、残る主な施設は千葉県に譲渡されて「千葉県畜産試験場」として新たな歴史を刻むこととなります。

昭和30年代後半になると、新東京国際空港（現成田国際空港）の建設計画が持ち上がり、昭和46年、千葉県は空港用地の買い上げの代替地として畜産試験場を提供することとなり、久彌の別邸及び庭園の敷地を残し、末廣農場は失われる事となりました。

残された別邸及び庭園敷地は、唯一、末廣農場の面影を残す場所であり、富里市ひいては千葉県における「近代農業発祥の地」であるといえます。

24 南大溜袋遺跡（市指定文化財）

南大溜袋遺跡は、昭和 47 年と昭和 48 年に成城大学考古学研究室によって学術調査が実施された縄文時代草創期（約 1 万 2 千年前）の遺跡です。発掘調査の結果、関東ローム層と呼ばれる赤土の中から石槍 137 点などが出土し、当時としては旧石器時代と縄文時代を繋ぐ遺跡として注目を集め、昭和 50 年に 40 平方メートルが県指定史跡となりました。

市教育委員会では、県指定範囲の詳細が不明であったことから、平成 19 年度から三ヵ年にわたって市内重要遺跡の確認調査として独自の発掘調査を行い、県指定範囲の外側にも同時代の遺物が広範囲にわたって残されていることを確認しました。

これにより、南大溜袋遺跡に残された縄文時代草創期の人々の生活の痕跡はより広がりを持っていた事が確認されたことから、県指定範囲を取り囲むように周辺部 156 平方メートルを市指定史跡としました。



25 久能臥龍桜（市指定文化財）

富里の地は、江戸時代に幕府の直轄牧であったこと、また、その後に開墾地となったことから、近隣の市町に比較して大木や古木が少ないという特徴があります。

このように数少ない古木の中で、ひととき異彩を放っているのが「久能臥龍桜」といえます。この桜は山桜の一種ですが、木肌が他の山桜とは異なっており、また、どのような理由によるものなのか、まさに龍が横たわったような姿で幹を伸ばしているのが最大の特徴といえます。

昭和 46 年、若潮国体開催に際して、県内各市町村を表す樹木が選定され、この時、村民からの一般公募によって、富里の樹木は「山桜」となりました。久能臥龍桜は市内の山桜の中で最も古いものであり、まさに富里市を代表するに相応しい樹木であることから、末永くこの樹形を維持するため指定して保護を図ることとなりました。



26 ^{ふじどうこうしんこうとう}不二道孝心講塔（市指定文化財）

不二道孝心講は、富士山を信仰する「富士講」から分かれた宗派で、埼玉県鳩ヶ谷に生まれた第八世大行者の^{こたにさんし}小谷三志によって確立されました。

不二道孝心講は、従来の富士講が迷信や形式を重んじていたことから、これを改め、質素儉約・勤労奉仕・夫婦和合などの日常的道德実践を説いたのが特徴です。

また、天下国家などへの報恩を具体的に示すためとして、社会奉仕事業として道路・橋・堤防などの土木改修工事を行ったことも特色のひとつといえます。

三志の教えは全国的に広がりを見せ、その信者数は最大5万人になったともいわれています。ここ富里の地（根本名地区）に教えが広まったのは、不二道孝心講塔に刻まれた天保15年銘の頃と考えられますが、県内には東葛地区を中心に十数基の塔のなどの造立が確認されているものの、富里市より南には不二道孝心講の広がりを示すものがなく、同講の南限であることが理解できます。

現在、不二道孝心講塔は成田市地番の土地に建っていますが、塔の建立に際して寄進した人々の名が根本名地区の人々のものであること、また、塔の日常管理を根本名地区の方々が行っていることから富里市の指定文化財として指定しました。

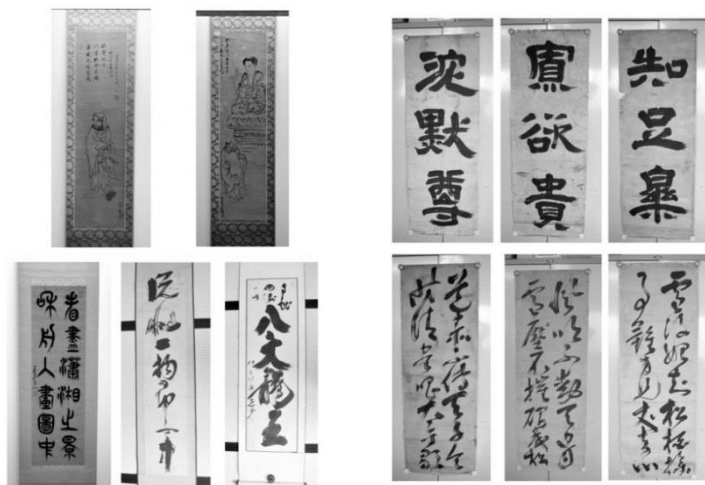


27 ^{きょうざんたいほ}京 璨退歩の書（市指定文化財）

大中京璨和尚は「退歩」とも号し、中沢昌福寺の21世の住職を務め、明治4年にこの地で没しました。また、寺子屋を開き、近隣の子供たちに読み書きを教えていたことが分かっていました。

それ以前については、京都の宇治にある興聖寺の関浪磨輒に侍し、その法を嗣いだと言われ、武蔵国大宮（現埼玉県さいたま市）の東光寺28世となりました。この時に「住持無学に付、学者不可入。寺貧乏に付、盗人不可入。」と大書して寺の門に貼っていたという逸話が残されています。この前半の「住職は無学なので、学者入るべからず。」については、帝国大学（現東京大学）印度哲学科の最初の講師となった原坦山を、^{かんろうません}梅檀林（現駒沢大学）において論破し、弟子としたことから学者の訪問が引きも切らずあったことに嫌気が差して書かれたものであると言われています。

この京璨和尚の手による書が纏まって残されていたことから、江戸時代末期から明治初頭における地域の教育を担った人物として、また、当時の優れた知識人としての功績を末永く後世に伝えるために、富里市の指定文化財に指定しました。



28 ^{こうやすずき}高野鈴木や^けゑ家^{もりふだ}の守札（市指定文化財）

鈴木やゑ家は、江戸時代から高野地区に居住していた旧家で、江戸時代末期に建てられた主屋の屋根裏から4,490点という膨大な量の「守札」が発見されました。これらを整理・調査をしたところ、市内のみならず全国各地250箇所に及ぶ神社や寺院のもので種類や形態は多種多様でした。

中には、貰い受けた時期や祈願者の氏名が記されているものや寺社の歴史や行事などにより時期が特定できるものが含まれており、江戸時代享和3年（1803）頃から昭和30年代頃までの約160年間の守札であることが確認できました。

多様な祈願事に対し、参拝や講中の代参、遠方寺社の御師の配札活動を含め様々な手段で神仏に祈願しており、神仏との関わりが当時の人々の生活の中で必要な存在であることや、それぞれの時代における地域の信仰のあり方なども窺え、古文書資料などには見られない市井の人々が多くの寺社の神仏の加護に支えられ生活していたことがわかる貴重な資料であることから、富里市の指定文化財に指定しました。



VI. 国登録有形文化財

1 旧岩崎家末廣別邸

旧岩崎家末廣別邸は、旧三菱財閥第三代総帥だった岩崎久彌氏が大正元年に興した「末廣農場（農地解放などにより消滅）」の中心部に建てた「書院造り」の建物です。大正15年に建築が始まったことが確認されていることから、大正末期から昭和初期における上流階級の生活様式を垣間見ることのできる近代和風建築であるとともに、上記「末廣農場」の面影を唯一残した建物です。

「主屋」は東南方向に複数の座敷を、北側には台所及び浴室が配置されています。外周のガラス障子の意匠が秀逸で、周囲の庇とともに軽快で瀟洒な外観が特徴的です。また、構造的な特徴としては、天井裏と床下の一部に鉄板による補強が加えられ、石膏ボードの使用も認められたことから、耐震・耐火を意識した造りであることが窺えます。

「東屋」は主屋の南東に位置し、杉の面皮柱や辛夷の皮付き丸太を用いるなど、野趣溢れる材料が使われた数寄屋造りの建物です。洋間を持たない主屋の機能を補う「応接間の代替施設」として建築されたものと推定されます。

「石蔵」は主屋の東側に位置し、木造の骨組みの周りに「大谷石」を積み、さらにスクラッチタイルによる仕上げを施すという手の込んだ建物です。強固な耐火蔵として、また、主屋の収納スペースを補う建物として建築されたと推定されます。



主屋（建築面積：約150坪）



東屋（建築面積：約15坪）



石蔵（建築面積：約7坪）

VII. 文化の振興

● 文化祭等の文化活動発表の場の充実

本市では、豊かな文化生活を営むことを目的として、文化団体や個人が自立した活動を行っており、これら文化団体等の活動成果を発表する場として、文化祭を開催しています。また、文化祭の活性化には、参加者と来場者のコミュニケーションが重要であることから、体験教室などによる来場者参加型の文化祭を推進しています。



活動成果の発表



各種団体による作品展示



各種団体による行事



児童生徒作品等の展示

● 市民ギャラリーの展開

市立図書館の複合化の一環として、その一部を令和4年10月より「市民ギャラリー」として展開しています。芸術鑑賞事業を年4回開催し、より質の高い芸術作品等の鑑賞機会を市民に提供し、また、市内小・中学校や高等学校の児童・生徒の優れた作品等も展示し、創作意欲の向上にもつなげます。



図書館市民ギャラリーにて開催の版画展



質の高い芸術鑑賞機会の創出

Ⅷ. 文化財の保護・保存・継承

● 無形民俗文化財継承事業への支援

本市には、久能獅子舞、中沢麦つき踊り、武州ばやしなど、それぞれの地区の特色をもった無形民俗文化財が存在しています。いずれの無形民俗文化財も保存会の後継者不足が深刻化している状況にあることから、若年層を対象にその継承事業に心血が注がれています。そこで、無形民俗文化財の継承事業を支援するため、申請のあった保存会に対し、補助金を交付する支援策を講じています。



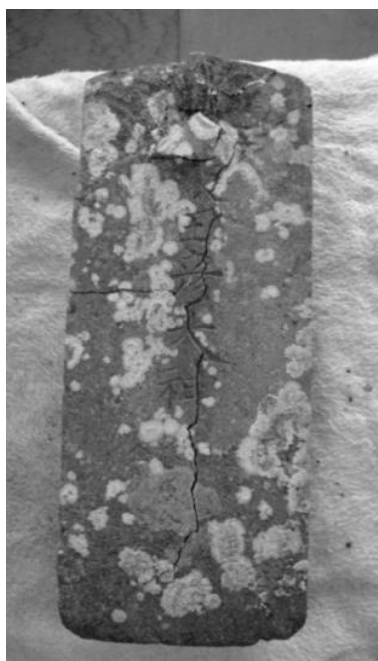
300 年前から伝わる久能獅子舞



農民の素朴な生活を伝える中沢麦つき踊り

● 有形文化財の保護

有形文化財の中でも、長年風雨にさらされている石造物は破損しているものが多く、また、コケなどが生えることによって劣化が進行しています。このような石造物については、筑波大学による指導の下、ひび割れなどの修復やコケ類除去薬の塗布、高圧洗浄機による洗浄などを行う保護策を講じています。また、文化財の価値を高めるため、随時、指定化を進めています。



修復前



修復後



薬剤の塗布



高圧洗浄機による石碑の洗浄

● 天然記念物の保護

本市は希少植物の宝庫でもあり、フクジュソウ、センダイタイゲキ、カタクリ自生地について天然記念物の指定を行っています。これらの植物は生育環境の変化によって消滅してしまう可能性が高く、生育環境の適切な保全が望まれます。自生地の草刈りや個体数調査など、市民ボランティアと連携を図りながら天然記念物を保護するため随時活動を行っています。



自生地の下草刈り



自生地保護の植樹作業

● 埋蔵文化財の保護

市内には、300箇所を超す遺跡の所在が確認されていますが、開発行為による破壊の危機に直面しています。このような状況から現状での保存が困難な遺跡に対しては、発掘調査による記録保存の措置などを講じています。



重機を使用した発掘調査



手作業による精査

● 各種文化財の実態調査

平成 18 年度から実施している民俗文化財調査に伴って、市内に残された様々な文化財の実態を調査しています。民俗文化財調査の成果については、地区ごとに報告書として取りまとめています。



年間を通じて行う年中行事の取材



民俗文化財調査報告書の作成



埋没した石造物の発掘



屋根裏に祀られたお札の調査

● 文化財を活用した学習支援

市内から収集した民具などについては、社会科学習教材として活用を図っています。また、屋外にある指定文化財を活用し、一般市民や市内小学校教員を対象とした文化財巡りを随時実施しています。



小学生の社会科現場学習
(日吉台小学校民具展示室)



創年セミナーでの文化財巡り
(高野地区)



社会科教員による市内巡検
(七栄神社)

IX. 教育関係史

元号	年	月	日	で き ご と
昭和	22	4	1	村立富里小学校と称す 村立富里南小学校と称す
		5	10	村立富里中学校と称す
	23	4	10	村立浩養小学校として創立
	26	4	1	村立洗心小学校として創立
				村立富里第一小学校として創立
	27	10	4	富里中、県指定の体育研究学校として公開
	31	10	25	富里中、文部省指定の産業教育研究学校として公開
	35	2	10	富里中、県教委より体育優良校として表彰
		12	26	富里中、屋内運動場落成
	36	11	1	富里中、県教委より学校表彰
	37	3	11	富里小、保健体育優良校として全国表彰
	41	1	19	富里第一小、県教委より学校環境優良校として表彰
		10	4	富里小、学校給食優良校として文部大臣表彰
	45	6	17	富里第一小、県教委より学校安全優良校として表彰
	46	1	16	富里第一小、県教委より健康優良校として表彰
	47	4	1	浩養幼稚園開園
	48	4	1	富里幼稚園開園
		6	12	富里小、現行地に移転
		11	13	富里小、県教委より学校教育功労賞受賞
	49	2		学校給食センター第一調理場竣工
	50	10	8	洗心小、スモールスクール研究発表
		10	22	富里中他、学力向上推進地域指定公開研究会開催 浩養小、県教委より交通安全優良校として表彰
	51	3	31	富里小、屋内運動場竣工 富里南小、郡小中体連指定体育研究学校として公開 洗心小、口腔保健優秀賞受賞 富里村教育センター開設
	52			富里南小、県教委より学校体育優良校として表彰
	53	4	1	日吉台小学校創立 富里中、プール竣工 富里南小、屋内運動場竣工
	54	9	23	視聴覚ライブラリー開設
		10	1	浩養小、屋内運動場竣工
	55	8	11	日吉台小、プール竣工
		4	1	富里小、印教連体育科研究学校として指定（56年～57年）
	57	3	1	富里村教育委員会、文部大臣表彰
		3	10	洗心小、屋内運動場竣工
		3	16	日吉台小、屋内運動場竣工
		4	1	向台幼稚園開園
		4	10	村営運動場（野球場）一般開放開始
		7	1	富里第一小、現校地へ移転
		10		村営運動場（テニスコート）竣工
	58	4	1	富里北中学校創立

元号	年	月	日	で き ご と
昭和	58	8	1	富里第一小、プール竣工
		9	6	富里中央公民館竣工
	59	3	23	学校給食センター第二調理場竣工
		4	1	根木名小学校創立 富里第一小、印教連社会科研究学校として指定 富里小、郡小中体連学校体育研究学校として指定
		7	25	根木名小、プール竣工 浩養小、プール竣工
		10	18	富里社会体育館竣工
	60	3	8	富里北中、屋内運動場竣工
		4	1	町制施行
		4	30	富里中、グラウンド改修工事完了
		6	23	第2回スイカロードレース大会が実行委員会の主催で開催されるようになる
		7	27・ 28	第36回印旛郡市民体育大会開催
		8	10	洗心小、プール竣工
	61	4	1	富里南中学校創立 千葉県立富里高等学校創立 日吉台小、印教連国語科研究学校として指定（61年～62年）
		6	6	根木名小、郡歯科医師会より「よい歯の学校」として表彰
		8	30	富里北中、プール竣工 浩養小、県教育長より健康優良学校として表彰
		9	17	富里南中、LL施設設置
		3	31	富里南中プール竣工
	62	10	23	日吉台小、印教連指定国語科研究学校として公開
		11	1	富里小、創立80周年記念式典
		3	19	富里南中、柔剣道場竣工
	63	4	1	富里中学校区、県教委より生徒指導推進地域に指定（63年～1年） 富里南小、県教委より学校安全研究学校に指定（63年～1年） 富里幼稚園、移転・新築完了 千葉県立富里養護学校創立（開校式6.25）
		6	24	富里小、全小社研千葉大会会場校として公開
		8	19	昭和63年富里町教育振興大会開催（講演 大野治衛先生）
		4	1	根木名小、県教委より教育放送利用研究学校に指定（1年～2年）
		4	8	富里誕生100周年記念式典開催
平成	1	7	5	富里南小、県教委指定学校安全研究学校として公開
		8	21	平成元年度富里町教育振興大会開催（講演 奈須紀幸先生）
		8	27～ 29	富里誕生100周年記念事業青少年洋上研修（伊豆大島）実施
		10	25	富里中、県教委指定生徒指導推進地域の中心校として公開
		11	28	富里南小、県教委より学校安全優良校として表彰
		12	19	富里南中、グラウンド整備工事完了
		2	1	富里南小、改造防音工事（2級）完了
		2	1	富里南小、改造防音工事（2級）完了

元号	年	月	日	で き ご と
平成	2	1	31	富里中、大規模改造工事完了
		4	1	富里小、県教委指定福祉教育推進校として指定（2年～4年）
		8	21	平成2年度富里町教育振興大会開催（講演 宮田 修先生）
		11	28	根木名小、県教委指定教育放送利用研究校として公開
	3	1	23	富里南小、県教委より健康優良校、大規模最優秀校として表彰
		3	21	富里南中、サキソフーン四重奏、全国大会で金賞
		4	6	富里中央公民館屋外陶芸室竣工
		5	31	日吉台小、増築工事完了 富里北中、グラウンド改修工事完了
		6	6	井上文部大臣、富里幼稚園視察
		8	21	平成3年度富里町教育振興大会開催（講演 吉開楯彦先生）
	4	4	1	富里小、県教委指定心身障害児理解推進研究学校として指定（4年～5年）
		8	21	平成4年度富里町教育振興大会開催（講演 明石要一先生）
	5	1	10	七栄小、校舎・屋内運動場竣工
		4	1	七栄小学校創立 富里中、県教委指定適応指導推進研究校として指定 富里南中、県教委指定福祉教育推進校として指定（5年～7年）
		8	20	平成5年度富里町教育振興大会開催（講演 龍岡穂積先生）
		8	25	富里北中、増築校舎竣工
		11	16	富里小、県教委指定深々障害児理解推進校として公開
	6	2	26	七栄小、プール竣工
		3	1	富里北中、コンピュータ教室開設
		4	1	七栄小、県教委指定国際理解教育推進校として指定（6年～7年） 富里北中、県教委指定生徒指導特別指定校（6年～9年）
		6	7	七栄小、郡歯科医師会より「よい歯の学校」で表彰
		6	24	富里中、コンピュータ教室開設
		6	27	富里南中、コンピュータ教室開設
		7	30・31	第45回印旛郡市民体育大会開催
		8	19	平成6年度富里町教育振興大会開催（講演 永井幸喜先生）
	7	2	22	七栄小、韓国高尺国民学校と姉妹校締結
		8	21	平成7年度富里町教育振興大会開催（講演 奥山 浩先生）
		9	1	各小学校にコンピュータを導入
		11	24	富里中、屋内運動場・特別教室竣工
		11	29	七栄小、県教委指定国際理解教育推進校として公開
	8	4	1	富里第一小、印教連指定社会科研究学校として指定（8年～9年） 富里中学校創立50周年
		6	7	富里北中、郡歯科医師会より「よい歯の学校」で表彰
		8	21	平成8年度富里町教育振興大会・生涯学習振興合同大会開催（講演 岸川悦子先生）
	9	4	1	富里中、県教委よりスクールカウンセラー配置事業校として指定（9年～10年） 富里南中、県教委より適応指導推進校として指定 根木名小、県知事部局より環境学習拠点校として指定（9年～10年）

元号	年	月	日	で き ご と
平成	9	5	1	富里町適応指導教室（ふれあい教室）開設
		5	7	根木名小、交通安全こども自転車成田地区大会 9 年連続優勝
		8	21	平成 9 年度富里町教育振興大会・生涯学習振興大会開催（講演 中山節夫先生）
	10	4	1	富里北中、県知事部局より環境学習拠点校として指定 浩養小学校創立 50 周年
		8	21	平成 10 年度富里町教育振興大会・生涯学習振興合同大会開催（講演 富田富士也先生）
		10	9	富里町体育協会、文部大臣表彰
		11	11	富里小 P T A、第 37 回千葉県交通安全県民大会における交通安全優良団体受賞
	11	2	9	富里小、平成 10 年度印教研保健研究部・養護教諭現場研修会開催
		4	1	富里南小、文部省より人権教育研究指定校として指定（11 年～12 年） 日吉台小、県教委より姉妹州児童生徒交流事業校として指定 日吉台小、県教委より国際化時代を生きる児童生徒育成モデル事業推進校として指定（11 年～13 年） 富里中、県教委より校内適応指導教室推進校として指定
		6	10	洗心小、郡歯科医師会より「よい歯の学校」で表彰
		7	22	洗心小、平成 10 年度全国水泳指導優秀賞受賞
		8	20	平成 11 年度富里町生涯学習振興大会・教育振興大会開催（講演 尾木直樹先生）
	12	4	1	富里南中、文部省より学校におけるボランティア等活用実践研究校として指定 富里小、印教連より国語科研究校として指定 洗心小学校創立 50 周年
		8	25	平成 12 年度富里町生涯学習振興大会・教育振興大会（講演 山田暁生先生）
		10	23	富里中央公民館、第 53 回優秀公民館表彰受賞
	13	3	23	富里小、第 1 校舎改修他工事完了
		4	1	富里南中、印旛郡市小中体連より体育・健康研究校として指定 富里第一小学校創立 50 周年
		8	21	平成 13 年度富里町生涯学習振興大会・教育振興大会（講演 森 隆夫先生）
	14	3	25	向台幼稚園新園舎竣工
		4	1	市制施行 洗心小、県知事部局より福祉教育推進校として指定
		8	24	平成 14 年度富里市生涯学習振興大会・教育振興大会（講演 石井めぐみ先生）
		10	31	富里市立図書館竣工
	15	3	27	富里市立図書館開館
		8	23	平成 15 年度富里市生涯学習振興大会・教育振興大会（講演 吉永みち子先生）
		9	1	学校評議員制度実施
	16	8	21	平成 16 年度富里市生涯学習振興大会・教育振興大会（講演 山田パンダ先生）

元号	年	月	日	で き ご と
平成	17	1	4	文部科学省より学校図書館資源共有ネットワーク事業推進地域として指定
		8	20	平成 17 年度富里市生涯学習振興大会・教育振興大会（講演 ジョン・海山・ネプチューン先生）
		10	3	文部科学省より学力向上拠点形成事業推進地域として指定
	18	2	5	富里市立図書館入館者 100 万人達成
		3	24	浩養小学校新校舎竣工
		8	8	富里市教育振興大会・教育講演会（講演 辻村哲夫先生）
		9	1	浩養小学校市民図書室開室
		10	28	富里市生涯学習講演会（講演 林家花丸先生）
	19	11	16	七栄小、富里市教育委員会指定 小学校英語活動公開研究会
		8	7	教育講演会（講演 天笠 茂先生）
		11	2	学力向上拠点形成事業公開研究会（富里南中学校区）
		11	10	キャリア教育優良教育委員会・学校等文部科学大臣表彰受賞
		11	17	日吉台小学校創立 30 周年
		11	28	印旛郡市地方教育委員会連絡協議会指定 理科・生活科公開研究会（根本名小学校）
		12	1	富里小学校創立 100 周年
	20	12	9	富里市生涯学習シンポジウム（講演 齋藤哲瑯先生）（パネラー：市内小・中学生 6 名）
		7	29	教育講演会（講演 牛尾則文先生・押谷由夫先生）
	21	10	24	七栄小、文部科学省指定 小学校英語活動推進事業公開研究会
		3	5	富里市立図書館入館者 200 万人達成
		3	23	富里南小学校屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事完了
	22	7	30	教育講演会（講演 藤川大祐先生）
		4	23	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣から表彰
	23	7	27	教育講演会（講演 有元秀文先生）
		3	11	富里小学校第 2 校舎耐震補強及び大規模改造工事完了
	24	7	26	教育講演会（講演 松本浩一先生）
		7	4	富里市立図書館入館者 300 万人達成
		10	20	富里北中学校創立 30 周年
		10	27	市制施行 10 周年記念教育講演会（講演 川口淳一先生）
		11	10	七栄小学校創立 20 周年
	25	11	13	富里小、印教連指定 算数科公開研究会
		8	1	教育講演会（講演 橘川清人先生）
		8	30	富里南小学校校舎耐震補強工事完了
		10	12	根本名小学校創立 30 周年
		11	1	千葉県教育功労者表彰を図書館が受賞
	26	12	24	旧岩崎家末廣別邸－国登録有形文化財登録
		2	18	富里市ジョイント・スクール構想を記者発表
		9	25	富里市学校適正配置基本方針を策定
		10	24	洗心小学校校舎耐震補強工事が完了し、全ての小中学校校舎の耐震化が実現
		10	31	学校給食センター竣工（旧第一及び第二調理場の施設統合）

元号	年	月	日	で き ご と
平成	27	3	24	富里市教育振興基本計画を策定
		4	28	はじめての総合教育会議が開催される
		11	18	富里市の教育に関する大綱策定
	28	11	5	富里南中学校創立 30 周年記念式典
		12	7	富里中学校創立 70 周年記念式典
	29	1	25	富里小学校エレベーター設置工事完了
		3	16	向台幼稚園閉園式
			25	洗心小学校閉校記念式典
			31	洗心小学校閉校（平成 29 年 4 月 1 日富里南小学校と統合）
				向台幼稚園閉園（平成 29 年 4 月 1 日向台こども園に移行）
		11	17	富里第一小学校、県教育委員会より学校体育優良校として表彰
	30	1	24	富里小学校創立 110 周年
		12	15	浩養小学校独立 70 周年記念式典
	31	3	22	富里中学校バリアフリー化工事完了
令和	1	6	6	富里南中学校、良い歯の学校表彰
		9	18	富里市立図書館入館者 500 万人達成
		11	22	根木名小学校、全国小中学校環境教育研究会 第 51 回全国小中学校環境教育研究大会（千葉大会）
		12	4	富里南中学校、印旛郡市学校保健研修会開催
	2	3	17	全ての小中学校の空調機の設置完了
		3～5		小中学校臨時休校（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策）
		9	1	富里南小学校、空調機更新による賃貸借開始
		12	6	旧岩崎家末廣別邸一般公開開始
	3	3		1 人 1 台タブレット端末の導入（小学 4 年生～中学 3 年生）
		4	28	図書館 2 階に郷土資料展示室の一般公開開始
		7	23	図書館敷地内に番組企画でのスプレーアート作品が制作される
		8	1	旧岩崎家末廣農場別邸公園の公開範囲拡大
	4	2		すべての小・中学校の児童・生徒に 1 人 1 台のタブレット端末導入完了
		4	1	全小中学校に学校運営協議会を設置 七栄小学校創立 30 周年 富里北中学校創立 40 周年
			29	旧岩崎久彌末廣農場別邸公園の開園日拡大
		7		富里市教育振興基本計画（第 2 期）を改訂
		9	30	市立図書館を「情報・文化・芸術」の発信拠点としてリニューアル 施設愛称が「とみらいテラス」となる
		10	6	市制施行 20 周年記念富里市中学生議会を開催
	5	1		第 3 子以降の学校給食費を無償化とする
		4	1	根木名小学校創立 40 周年
		6	18	4 年ぶりに富里スイカロードレース大会を開催
		9		千葉県移動美術館を本市で約 40 年ぶりに開催
		10	18	令和 5 年度富里市中学生議会を開催 中学生からの提案を予算化へ
	6	4		中学生の学校給食費を無償化とする

令和6年度富里の教育
令和6年8月発行
編集・発行 富里市教育委員会
〒286-0292
富里市七栄652-1
☎0476-93-1111



心ひとつに 未来に向かって飛び立つ 躍動のときと